

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	編集後記
別タイトル	EDITORIAL POSTSCRIPT
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2023.12.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 70(4).
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD32614981

編集委員会

編集委員長：船戸弘正
編集委員：狩野修
村上義孝
大塚由一郎
田中京子
編集顧問：中野裕康

松田尚久 三上哲夫
内藤篤彦 南木敏宏
佐野厚 高橋寛
津熊久幸

(ABC順)

編集後記

今年の敬老の日は、東京都心で最高気温33.3℃を記録し、年間の真夏日最多記録をさらに更新する形(今年86回目の真夏日)で迎えることになった。9月後半とは思えない厳しい残暑が続いている。先月には、ハワイ・マウイ島での大規模な山火事のニュースが連日報道された。近年の世界的な異常気象や天災と、1年半以上が経過するロシアのウクライナ侵攻の今後を危惧しながらこの編集後記を書いている。

本誌第70巻4号は、本学の名誉教授で2023年3月に佐倉病院外科教授をご退任された岡住慎一先生の巻頭言「これからの医学・医師教育に思う」に始まり、第161回東邦医学会例会での教育講演「造影剤の現状と今後の展望」の中から、大橋病院放射線科の長谷川誠先生がMRI検査で長年使用されているガドリニウムベースの造影剤(GBCA)の有用性と蓄積したガドリニウムの潜在的な毒性に関する論文、原著論文として、大森病院小児科の伊藤駿先生より「重症心身障害児(者)における小児科から成人診療科への移行の問題点」、また、「PHS法による再発鼠径ヘルニアに対して、メッシュ選択・配置を工夫したTAPP法が奏功した2例」を大橋病院外科の井上正章先生が症例報告として寄稿された。

岡住先生の巻頭言では、ご自身の心に残る「7つの言葉」をご紹介いただき、これからの医学・医師教育のあり方を考える上で大変参考になるメッセージを私達後輩に送ってくださった。事ある毎にこれらを思い出しながら精進していきたい。また、伊藤論文を拝読し、障害児(者)の小児

科から成人診療科への移行のタイミングと役割分担の難しさに加え、多職種間での協力と保護者に対する丁寧な説明の大切さを痛感した。

さらに本号では、第162回東邦医学会例会(2023年6月14日~16日開催)での発表演題の抄録と2つの教室(診療科):生理学講座統合生理学分野と佐倉病院泌尿器科の紹介記事が掲載されている。各教室の教育・診療・研究における特色を知ることができ、大変興味深く拝読した。最後の論評では、小職が、近年増加の一途を辿っている本邦における大腸癌死亡を食い止めるために「内視鏡医にできること(内視鏡医の役割)」について寄稿させていただいた。ご一読いただきご意見、ご指導を賜れると幸いである。

(松田尚久)

東邦医学会雑誌 第70巻 第4号

令和5年12月1日発行

編集兼 船戸弘正
発行人

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
東邦大学医学部2号館M1階 医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3764-1642

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎